

PROGRAM NOTE

1978

近藤譲：撚り I

7 楽器のための

Strands I

for 7 instruments

1970年代の半ば、私は、互いに非常に音色の異なる楽器のアンサンブルに強い興味を引かれていた。それは、当時以来私が興味を懐き続けている「曖昧な構造」——言い換えれば、構造が存在するのだが確立されてはいないという状態——というものへの関心を反映している。つまり、1本の旋律線を構成する一つ一つの音を、互いに決して溶け合わない異質な音色の楽器間に分けもたせることで、その元の旋律線の構造を意図的に曖昧な状態に置くという試みである(私は、こうした形態のアンサンブルを、「散奏」と呼んだ)。私は、1975年に、5楽器のための《視覚リズム法》で初めてそうした試みを行なった。その3年後に、やはり互いに音色を異にする7楽器(フルート、イングリッシュ・ホルン、エレクトリック・ピアノ、バンジョー、スティール・ドラム、ヴィオラ、コントラバス)のために書いたこの《撚り I》では、その試みが更に拡大されている。

尚、この作品の旋律素材を用いて、後に、2又は3台のピアノのための《撚り II》(1980年)、ヴァイオリンとピアノのための《撚り III》(1981年)が書かれた。

近藤譲

初演：1978年12月(東京)

初演者：川合良一(指揮) 小泉浩(フルート) 佐藤紀雄(バンジョー) 他

出版：University of York Music Press (UK)

演奏時間：12分